

災害対策専門研修「トップフォーラム in 長崎」を開催しました。

大災害時に災害対策本部長となる市町長が果たすべき役割やリーダーシップについて理解を深め、自治体の防災・危機管理体制の一層の充実を図ることを目的として、県内市町長を対象とした災害対策専門研修「トップフォーラム in 長崎」を開催しました。

人と防災未来センター 河田恵昭センター長をはじめとする講師陣からの自治体の災害対応等の講義、市町長参加による演習及び模擬記者会見を行いました。

終了後のアンケートでは、ご参加いただいたすべての方から今回のフォーラムで得た知識等は今後活かすことができると高い評価をいただきました。

日 時：平成 23 年 2 月 10 日（木）13:00～17:00

場 所：長崎西彼農協ビル

参加者：県内市町長ほか約 110 名

主 催：長崎県、（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター

~~~~~ 講 義 ~~~~~

1 「長崎県における自然災害とその対応」

講師：人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏

市町村合併により土地勘のある職員が減少するなど自治体の防災力が弱くなっていると説明がありました。また、災害による犠牲者の3分の2は災害時要援護者であり、地震や豪雨、土砂災害などの災害時は1階よりも2階の方が安全であることがよく理解できました。

地震被害を軽減するためには、家具の固定化など日頃の地道な努力が必要。

長崎県は地震やゲリラ豪雨など様々な災害が起こりうる地形などの条件があるため、そのための備えが大切であると認識させられました。



2 「災害時の首長の行動と必要とされる役割」

講師：人と防災未来センター 研究主幹 紅谷 昇平 氏

災害対応の首長の役割は大きく3つある。行政機関の長としての組織マネジメント、住民代表としての市民へのメッセージの発信、政治的リーダーとしての外部への応援要請。

また、過去の災害時の首長の直面した具体的な課題から、自治体は平常時から十分な備えをしておくことや災害時の対応方法を学んでおく必要があることが大切であるとよく分かりました。

自治体の災害対応では、状況認識の統一、被災者目線での目標の決定、目標実現のための対応方針策定、積極的な広報が重要であることが理解できました。

3 「災害対応における広報のあり方」

講師：人と防災未来センター リサーチフェロー 高橋 淳夫 氏

災害対応における自治体の首長（トップ）の広報のあり方としては、被災者の立場で考え、被災社会に安心感、信頼感、勇気、希望を与える内容であってほしい。被災者とともに困難を乗り越えるという観点や被害の拡大防止の観点などから、必要なメッセージは積極的に発信してほしいと説明がありました。

また、被災地・被災者のニーズを予測し、先手を打つ広報が大切であることが理解できました。



~~~~~ 演 習 ~~~~~

「地震発生から1週間後までに達成する目標を考える」

「模擬記者会見（被災者に向けたメッセージ発信）」

県内21の市町長または副市町長にご参加いただき、地震災害を仮想想定した演習を行いました。

被災者の立場・目線から、被災者・被災地が困っていることや必要としていることをイメージした後、その内容を改善するための目標を掲げ、さらにその目標を達成するための対応方針を策定していただきました。

最後に模擬記者会見を行い、市民へのメッセージを発信していただきました。

災害対応時における自治体首長としての役割やリーダーシップについての理解が深まったのではないのでしょうか。

